

## 地誌学

2単位 2年(前期)

平井 松午・教授 / 社会創生学科

【授業目的】伝統的生活空間である村落の成立は、土地開発の歴史と深く関連している。この授業では、日本および欧米等における土地開発の進展と村落の立地・特徴について代表的な事例を取り上げ、歴史地理学的・集落地理学的な視点から総観するものである。また、こうした事例を通じて、人間と自然との関わりや、東西文化の共通点や相違点についても論じていくことにしたい。

【授業概要】日本および欧米の村落

【キーワード】地理学、地誌学、村落

【履修上の注意】この授業科目は、教員免許取得(中学校・社会/高校・地歴)のための科目でもある。旧カリキュラムの「日本地誌」もしくは「欧米地誌I」の、いずれか1科目への読み替えが可能である。本授業では随時、OHPやパワーポイントなどを使用するが、ノートの取り方は各自が工夫すること。

【到達目標】日本および欧米地域の村落・農村空間の成立過程について、時間的・空間的な展開の中で理解するとともに、地域的な差異の特徴について把握できるようにすること。

【授業計画】

1. 村落の定義
2. 村落の立地環境
3. 村落の形態
4. 古代日本の土地開発と条里制
5. 古代日本の集落形態
6. 中世起源の環濠集落と豪族屋敷村
7. 散村地域の形成と展開
8. 近世日本の新田開発
9. 北海道の開発と殖民地地区画
10. 古代中国 ローマにおける方格地割
11. ヨーロッパにおける集落形態
12. 耕区制と三圃式農業
13. 中世大開墾時代の開拓村
14. 囲い込み運動と散居農場
15. 北米フロンティアのタウンシップと散居農場
16. 授業のまとめ

【成績評価】本授業は講義形式で行うが、授業中に数回行う小テストや課題、授業への取り組み状況などにもとづく平常点での評価と、期末試験(持ち込み不

可)結果による評価を併用して行う。

【再試験】再試験はない。

【教科書】とくに教科書は使用せず、必要な資料は随時配布する。中学校もしくは高校で使用した地図帳を準備しておくことよい。

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=219200>

【連絡先】

⇒ 平井 (2116, 088-656-7159, hirai@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 研究室 1号館中棟1階 火・金曜日12:00~ 13:00)

【備考】平成23年度開講。隔年開講のため、平成24年度は開講しない。